



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS
THE Y'S MEN'S CLUB OF GOTEMBA
CHARTERED 1986.4.7

2025
6
No.466

第1例会: 毎月第2木曜日18:30~ 第2例会: 毎月第4木曜日18:30~ 会場: YMCA東山荘 TEL: 0550-83-1133/FAX: 0550-83-1138
〒412-0024 静岡県御殿場市東山1052(公財)日本YMCA同盟国際青少年センター東山荘 URL <http://www.ymcajapan.org/tozanso/>
OFFICE: YMCA TOZANSO 1052 Higashiyama Gotemba Japan 412-0024 E-MAIL: tozanso@ymcajapan.org

会長: 杉山 博恵 副会長: 杉山 将己 書記: 小野麻利子 会計: 山本 光子 監事: 杉山 将己



国際会長主題” Together for a Better World” 「より良い世界のために、共に」

アジア地域会長主題” Be the light for change” 「変革のための光となろう」

東日本区理事主題 「ワイズの方向を見極める」

富士山部部長主題 「たゆたえども沈まず」

御殿場クラブ会長主題 「活発な奉仕活動によりワイズの理念を広めよう」

御殿場クラブ活動方針

1. 東山荘と共に地域奉仕活動を行う。
2. 会員相互の親睦を図り、信頼関係の構築をなす。
3. 健全なる青少年の為に、YMCAと共に力を注ぐ。
4. DBCを始めとする他クラブとの交流を促進する。
5. EMC増強によるメンバーとクラブの強化を目指す。



2025年6月度例会プログラム

- | | |
|-------------------|----------|
| 司会 | 若林久美子Y,s |
| 1. 開会の言葉 | 司会 |
| 2. 開会点鐘 | 杉山博恵会長 |
| 3. ワイズソング | 一同 |
| 4. ワイズの信条 | 一同 |
| 5. 会長挨拶 | 杉山博恵会長 |
| 6. ゲストビジター紹介 | 杉山博恵会長 |
| 7. 聖句について | 森田義彦Y,s |
| 8. 食前感謝 | 前原末子Y,s |
| 9. 食事 | |
| 10. 御殿場クラブの未来を考える | |
| 11. 誕生日・結婚祝い | 各自 |
| 12. スマイル・YMCA基金報告 | 山本光子Y,s |
| 13. 閉会の言葉 | 司会 |
| 14. 閉会点鐘 | 杉山博恵会長 |

《今月の聖句》

ローマ信徒への手紙5章 3・4節

3. そればかりでなく、苦難をも誇りとします。
私たちは知っているのです。苦難は忍耐を
4. 忍耐は練達を、練達は希望を生むということを。

《聖書の意味》

世の中には楽しいこと、楽なことばかりではなく
辛いこと、厳しいことのほうが多いかと思う。
しかし何のために生き、何を目的として
生きるのかをしっかりと持っている人は、その道中の
苦難をも感じないものである。

【ワイズメンバーが減少しているのは何故か？】
減少していることに下を向くだけでなくその原因を
理解し、目的を確認し、目的を共有することが
大切ではないでしょうか。

【BFだより】

- ・ビールやジュースを飲んだら
プルタブを外しましょう！
- ・手紙が来たら切手を切り取りましょう！



6月お誕生日 おめでとうございます！

6日 森田義彦Y,s



6月結婚記念日の方 おめでとうございます！

【5月例会報告】

在籍数	14名	メネット	0名	スマイル報告	9,000
出席者	10名	コメント	0名	スマイル累計	827,513
メーキャップ	名	ゲスト	1名	YMCA基金	1,790
出席率	71%	ビジター	0名	YMCA累計	249,000
修正出席率	%	出席者		BF活動切手	
		合計	11名		

5月例会報告

杉山 將己

桜の花も見納め、ようやく初夏を思わせる時季と成ってきました。

杉山会長の開会点鐘と共に、例会の開式に当たり、会長より今月は各ワイズメンの現状やこれからの抱負など、3分間程度のスピーチで例会を行いたいとの事で開式となりました。

今月の聖句は森田所長より、イエス・キリストが処刑され三日後に蘇り、これをイースターと呼びキリストの復活と呼ばれている、天に召されても支えて下さった方々に感謝を持ってとの事でした。

今月の会食は、初めて出てきたグリンピースのスープが私の口に合い、非常に美味でした。

さて、各3分間スピーチの始まりですが、まずは次期会長を務めていただく前原Y,sより、次年度の会長主題を『和顔愛語の心でクラブ活動と奉仕を』との事で紹介があり、各ワイズメンの協力を願いたいとの事でした。

続いて秋田Y,sですが、数々の役職を持つ非常に多忙の中での参加を願い感謝です、小山町の商工会会長を務められ、これらの紹介説明等がありました。更に驚いた事に96歳の父親が健在で、小山町の検眼運動の発起人でもあり、現在も小山ライオンズクラブの会員として活躍されているとの事でした。

次に市議員活動に多忙の中、久々に参加をしていただいた川上Y,sより市議会活動のご報告と共に、御殿場駅（富士山口）での演説を開始して、本日が丁度丸2年なる記念すべき日との事でした。

私もちょくちょく拝見しますが、特に若林洋平参議院議員（Y,s）が御殿場市長を務めていた頃を思い出しました。

内海Y,sは、カラオケが趣味で、ワイズと共にこれからも頑張りたいとの事でした。

岩田Y,sより、心身共に、これからのワイズ活動に積極的に参加をし、努めて行く事の約束がありました。

小野Y,sは、今年は世間が難儀している、お米作りに精を出したいとの事でした。 私も同感です。

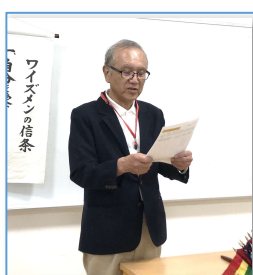
杉山会長より、これからは我が子と孫に期待を持つと共に、地域の奉仕活動に精を出したいとの事でした。

山本Y,sより、現在体調が思わしくない為、次年度は休会させてほしいとの事でした。非常にさみしい思いです。

最後に私より。最近歳と共に足腰がおもわしくなく難儀している状態です。32年前の丁度5月6日に、右の耳にヘルペスを患い難聴となり、現在では皆さんのお話が聞きにくくなり、特に私の都合のよくないお話は、聞き取れないことをお伝えし、終了となりました。



杉山会長 挨拶



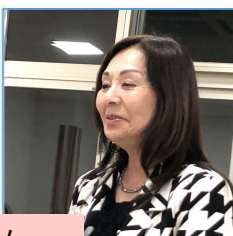
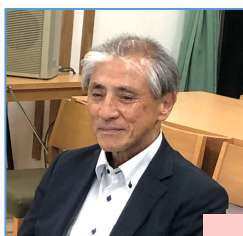
森田Y,sの聖句



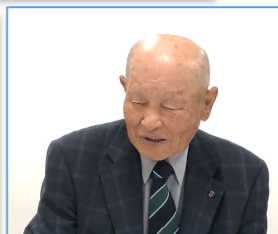
お誕生日祝



本日の会食



3分間のスピーチタイム



ヒナの巣立ち

佐野 恵美

五月晴れのさわやかな季節も、そろそろ終わりに近づいています。

そんなすがすがしい朝の日曜日、我が家の庭から5～6羽の四十雀のヒナが巣立ちました。

巣箱の設置（穴が大きすぎると他の大きな鳥にやられるので、27mm）

親鳥が巣の内覧(?)にきて、卵が産まれ、親鳥が入れかわり立ちかわりエサを運んでくるので、どうやらヒナがかえったらしい。

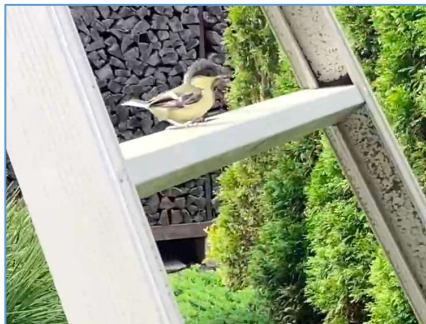
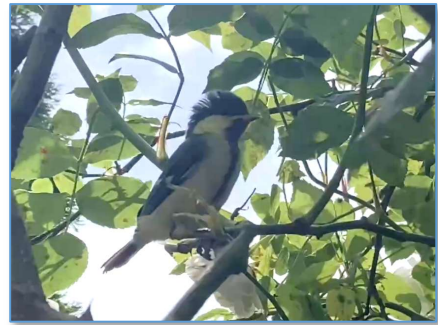
へビにやられない様にアルミ板で傘を作り、隣の木にはサランラップをぐるぐる巻きにして登ってこれない様に対策済み。

そして雨あがりの5月18日。8時頃から親鳥が周りから“出ておいで”とうながして、1羽2羽と飛ぶ練習。植木の枝から枝へ練習しながら少しずつ高く遠くへ…。30分くらいで全羽、庭から見えなくなっていました。

嬉しい様な寂しい様な…。自然の中で無事に暮らして、実家を忘れず、今度は自分達がここで子育てをして欲しいな。

それにしても、誰が教えた訳でもないのに、巣作りをして卵をあたため、雨の日も風の日も子供達にエサを運び成長して時期が来たらちゃんとひとり立ちさせる…。

私達人間の方が、教わる事が多い様な気がしませんか？



守りたい文化財 フィッシャー館・齊藤記念館

YMCA東山荘にある「フィッシャー館」と「齊藤記念館」。
ご存知のとおり、2020年3月19日に国の登録有形文化財に登録されました。
この二つの歴史的建造物について、あらためてご紹介します。

フィッシャー館

フィッシャー館は、日本における初期のYMCA運動の推進に貢献したゲレンMフィッシャー氏の寄附により1950年 東山荘の敷地内に建設されました。フィッシャー氏にちなみ「英一舎(フィッシャー)」と名付けられ、当時は聖書研究室として用いられていました。建物はウィリアムMヴォーリズが設計。かつて東山荘にはフィッシャー館の他、本館講堂・宿泊棟もヴォーリズにより設計されましたが、現存するのはフィッシャー館のみになります。

建物は東山湖越しに富士山を正面に眺められるよう配置されており、周囲の環境や日本人が受け入れやすいデザイン・洋館を思わせる赤い瓦葺きの屋根が日本と西洋の融和を感じさせる点などが評価されました。

齊藤記念館

齊藤記念館は、元日本YMCA同盟総主事・齊藤惣一の日本のYMCA運動への大きな貢献を記念して、日本YMCA同盟結成60周年にあたる1965年に建設されました。

齊藤惣一は東京YMCA総主事として、関東大震災復興や日米交流に尽力、また第二次世界大戦後は印揚救護院長官に就任するなど、日本におけるYMCA運動の推進に努めました。

齊藤記念館は体育青少年教育に造詣が深い村田政真により建築されました。1960年代の日本建築界は、丹下健三を筆頭としたモダニズム建築の流れがあり、齊藤記念館もそのことが感じられるデザインです。重厚な自然石張りの内壁と外壁や建物内にある暖炉は、落ち着いた空間を作り出しています。

YMCA運動を牽引した齊藤惣一の功績と戦後の日本の歩みを感じることができる点が評価されました。



フィッシャー館



齊藤記念館